みなみだより

小美玉市立小川南中学校　学校だより
NO.15　令和5年10月10日　発行

キーワード（生徒）考える　行動する　そして感動へ　／　組織目標（教職員）生徒が主役　認める　寄り添う

２学期の抱負

10月10日（火）２学期始業式より

２学期に向けて　　１年

４月から新しい生活が始まり、私は不安でいっぱいでした。しかし、段々と中学校生活にも慣れ、いろいろなことを全力で楽しめるようになりました。さらに２学期には、１学期の反省点を踏まえて自分で考え、積極的に行動していきたいです。

学習面では、苦手な教科を克服したいです。中学生になって本格的な勉強が始まり、私は英語に苦手意識をもってしまいました。小学校の勉強は、話すことや聞くことがメインだったため、１学期は単語を覚えることに苦戦しました。そのため、書くことがメインとなったテストでは点数が下がってしまいました。そのために単語を声に出したり、その文や単語の意味をイメージしたりして、勉強方法を工夫することで、英語に対する苦手意識をなくしていきたいと思います。

行事では、11月にあしのめ祭があります。私は、ピアノ伴奏者になり、夏休みから日々練習をしてきました。あしのめ祭をもっと良いものに、楽しい思い出にできるように、細かい部分の練習を頑張りたいです。そして、私達、１年３組の学級目標でもある「切磋琢磨」をしながら、金賞を目指して、クラスでの練習にも励んでいきたいです。

部活動では、文芸部に入り、絵を描いたり、パン作りをしたりして、とても楽しく活動することができました。同級生や先輩との仲を深めることもでき、先輩には大変優しくしていただいています。しかし、話合いの時間では、自分の意見を出すことができず、話合いに参加できないことがありました。そのため、２学期は、もっと自分から進んで意見を出し、部活動をよりよいものにできるようにしていきたいと思います。

２学期は、１学期の反省を生かし、さらに成長できるように努力していきます。

２学期の目標　　２年

目標を二つ立てました。

一つ目は、勉強についてです。今までの自分は、テストの点数が思うように取れませんでした。このままでは、行きたい高校にも行けるか分かりません。特に英語は、単語が覚えられなかったり、日本語と違うため覚えづらかったりして苦手意識があります。自主学習等は、少しずつがんばってきましたが、来年度の受験に向けて、点数をもっと上げていけるようにするために、苦手なところを繰り返し復習するなど、自分の力になるよう工夫をして勉強していきます。また、いつも自分なりに、ここまでには課題を終わらせようと計画を立て取り組んでいますが、計画通りに達成できないことが多くありました。これからは、計画を立てる際には、自分のペースを把握した上で、具体的な内容を決め、やるべきことを先にできるようにしていきたいです。

二つ目は、生活面についてです。今までは生活面できちんとできなかったところも多く、周囲の人に迷惑や心配をかけてしまうことがありました。そんな自分を変えたいと思い、１学期には体育祭実行委員に挑戦をしました。最初は、人前に立って伝えたり人を動かしたりすることに自信がなく、周囲の人に心配をかけてしまうばかりでした。しかし、みんなと協力をしていくことで、人前に立っても頑張れるようになりました。まだまだ、自分だけではできないこともありますが、周囲の人に協力をお願いしたり、相談したりしながら自分の行動を見つめ直し、自信をもってできることを増やしていきたいです。そして、自分自身で生活面をしっかり管理して、人の役に立てるような人になりたいです。

この二つの目標を達成できるよう２学期もいろいろなことに挑戦し頑張りたいと思います。

裏面もご覧ください。

２学期の抱負　　３年

いよいよ中学校生活最後の学期を迎え、受験について強く意識しはじめるようになりました。

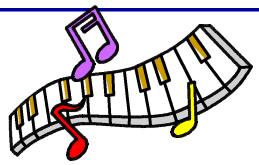
１学期を振り返ると、さまざまな出来事を思い出します。その中で僕が特に印象に残っていることが最後の総体です。総体では「県大会に出場する」という中学１年生からの目標がありました。しかし、結果は、希望叶わず引退となり、悔しい思いをしたことを覚えています。総体に向けて仲間と共に切磋琢磨しながら、厳しい練習に励んできたおかげで、忍耐力や協調性など多くの力を身に付けることができ、自分自身の成長に繋がる時間を過ごすことができたと思っています。部活動で培ったこうした力を僕は、これから二つの場面で生かしていきたいと思っています。

一つ目は、今月開催される駅伝です。駅伝では、一人一人が長距離を走ります。そのため、練習中であっても、大会当日であっても心が折れそうになる場面が、何回も自分や仲間に襲ってくると思います。しかし、そういう時こそ部活動で培った力を発揮したいです。例えば１分１秒でもタイムを縮め、チームに貢献したり、チームを鼓舞し、チームを引っ張っていけたりする存在になり、一つでも上の順位が取れるようにしたいです。

二つ目は、受験勉強です。勉強する時間は去年や一昨年に比べて増えました。しかし、勉強中どうしても気が散ってしまい、長時間継続できない時があります。受験日まで半年を切ってしまいました。勉強時間だけでなく、勉強の質を上げていけるようにしたいです。そのためには、駅伝同様自分の力を最大限発揮し、志望校合格に一歩でも近づけるように日々努力します。

後悔を残したまま中学校を卒業するのではなく、自分に自信がもて、力を全て発揮することで、いい中学校生活だったと胸を張って卒業できるように残りの毎日を全力で過ごしていきたいです。

第２学期始業式　校長式辞より抜粋



（前略）

２学期、まずは、本校伝統のあしのめ祭があります。

昨年度、あしのめ祭や体育祭などを３年ぶりに復活しました。あしのめ祭や体育祭は、本校にとって、これまでずっと続いていた伝統の行事です。コロナ禍により、中断を余儀なくされたこの伝統の行事を、昨年度の３年生が中心になって、誰もが経験のないものを１から作り上げて復活させてくれました。昨年度の先輩たちの苦労や皆さんに味わわせてくれた感動があって、先月の体育祭につながったのではないかと思います。伝統はこうして継承されていくものだと考えます。

ところで、２年生、３年生は、昨年度の自分のクラスが歌った合唱曲を覚えていますか。懸命にその曲に向き合い練習に励んだ皆さんには、コンクール当日のことだけでなく、そこに至るまでの練習でのさまざまな場面が思い出されるのではないでしょうか。グランプリを取った、昨年度の３年１組の合唱を覚えていますか。私は、当日のハーモニーはもとより、そこに至るまでの練習風景や熱い熱い話合いの風景、当日の気持ちの高まり、絆の深まり、グランプリ発表後の達成感やそのことが次に向かうエネルギーになったことも含めて、大きな感動をもらいました。賞を取った取れなかったに関わらず、どのクラスのどのメンバーにも、そのとき同じ時を同じ思いで過ごした忘れられない曲になったのではないかと思っています。たかが１曲の歌ですが、されど１曲の歌、大切な仲間とそこに一緒にいた証の大切な１曲の歌です。

今、ここにいる同じ時を過ごす私たちにとって共通の１曲、歌に校歌があります。たかが１曲の歌ですが、されど１曲の歌、大切な１曲の歌「校歌」です。

コロナ禍により、校歌は歌うものではなく、聴くものになりました。しかも、その機会もぐんと減りました。これまで歌うことのなかった校歌です。コロナ禍により寸断された伝統を先輩たちがしっかりと取り戻してくれたように、今ここにいる私たち教職員や生徒たちには、コロナ禍前に体育館に響いていた、校歌を歌う伝統の姿や、校歌を継承する役目があるのではと感じています。

小川南中学校は、今年で創立58年を迎えます。伝統のある学校です。多くの先輩方が歌い繋いできてくれた、体育館に響き渡らせてくれていた校歌です。

今、校歌の話をしましたが、小川南中には、あいさつや授業の始めや終わりの丁寧な礼、黙働清掃など良い伝統があります。

みなさん一人一人の「考える　行動する　そして感動へ」が、大きく問われる２学期だと、私は考えています。皆さんの「考える　行動する」姿、「そして感動」を味わう皆さんの姿を楽しみにしています。